

一般質問



【一般質問】町の様々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

救急時の初期対応は、救命率に大きく関わるため、AEDの所在や使い方を町民に広く知ってもらうことが重要です。次の点を伺います。

- ① AED設置マップを作成し、町民に広く周知してはどうか。
- ② 消防団員・商工会会員だけでなく、町民にも救急救命講習の受講を呼びかけてはどうか。
- ③ 店舗や一般家庭でのAED購入・レンタル・メンテナンスに対する補助・助成を検討してはどうか。

動画は
こちら



医療

問

AED設置場所の周知と導入支援の検討は？

答

設置一覧を作成・周知
助成は現時点で考えていない

鳴海町長

- ① 町では、公共施設にAEDを17台設置しております。設置マップは現在作成していませんが、今後、公共施設等のAED設置一覧を作成し、町HPや広報で周知していきます。
- ② 救命講習は福島消防署で個人・団体を問わず受講でき、令和7年度は普通救命講習と救命入門コースを併せて9回開催し、87名が受講しました。健康フェスティバルでも町民向け講習を実施しております。
- ③ AEDは多くの町民が利用する公共施設への設置を進めており、店舗や個人への助成制度は現時点では考えておりません。



熊野 茂夫議員

町民や児童の送迎に、公用車・バスを使う機会があります。安全な運行体制を確認するため、次の点を伺います。

- ① 町行事などで町民を送迎する際の公用車の安全チェックや運用規定はどうか。
- ② 町民団体から町外運行の依頼があった場合の対応や規定・基準はどうか。
- ③ 小・中・高校の学校行事や部活動などでの児童生徒の移動に関するバス運行の対応状況と課題はどうか。

動画は
こちら



行財政

問

公用車・バスの安全な運用体制は？

答

規定に基づき安全に運行
運行者確保などが課題

鳴海町長

公用車は、アルコールチェックや乗車前点検などで安全を確認し、町民の送迎時は乗降時の安全にも配慮しております。

福祉バスは、行事や福祉、町内会活動など移動支援のために運行し、町外運行についても日程や人数を確認して団体と調整しております。

小野寺教育長

学校行事や部活動でのバス利用は、各学校の計画に基づき運行しております。運転は資格のある職員、委託先の運転手が行っており、課題は冬季のバス巡回所や大型バス運転手の確保です。



平沼 昌平議員

クリーン渡島での火災を受け、ごみ収集に関する情報共有と、家庭で取り組める減量化の周知が改めて問われています。次の点を伺います。

- ①生活に直結する情報共有体制は十分か。改善点をどう認識しているか。
- ②生ごみ減量化について、町民が協力しやすい周知強化や具体的な取り組みを考えているか。
- ③住民生活に関する情報を体系的に発信する仕組みを検討し、町民が“自分ごと”として受け取りやすい形に再構築する考えはあるのか。

動画はこちら



生活環境

問

ごみ処理の情報共有と減量化の周知は？

答

情報発信を継続し
ごみ減量化策を検討

鳴海町長

- ①火災後は、緊急的に千軒地区の最終処分場に可燃ごみを仮置きし、全戸チラシや防災無線で分別徹底を呼びかけしました。今後も、ごみ処理を「我が事」として捉えられるよう、情報共有を続けます。
- ②生ごみ減量化は、「ひと絞り運動」や電動生ごみ処理機の普及を進めています。今後分別の意識を高めるため、分別の細分化などを検討しながら、減量化を図ります。
- ③5月の可燃ごみは約66トンで、4月より約7トン減少しました。今後も施設や処理の状況、家庭でできる減量方法をわかりやすく発信します。

議会への意見・質問フォームに寄せられたご意見

議会だよりやHPで回答希望

ご意見の内容

熊対策についてICT活用はしないのか？なぜ道などの補助金を活用し早期対策や安全のために動かないのか？また事故が起きたらどう責任をとる？夜間などパトロールだけでは安全ではない。住宅地裏など道路から見えない場所の確認はどうしてる？

議会としての回答

ご意見ありがとうございます。

ヒグマ対策は町民の生命・安全に直結する重要な課題であり、議会としても重く受け止めています。

町では、これまで電気牧柵の設置、草刈りによる見通し確保、夜間・休日のパトロール、クマスプレーや監視カメラ等の資機材整備などを進めていることを確認しています。

一方で、パトロールだけで安全を確保できるものではなく、住宅地裏、山際、河川敷、草やぶなど、道路から確認しにくい場所をどのように把握し、点検していくかは重要な課題です。

議会としては、町の対応状況を継続して確認し、ICT活用、危険箇所の把握方法、財政支援制度の活用状況、関係機関との連携、町民への情報提供について、必要な調査・提言を行ってまいります。

また、事故が起きてから責任を問うのではなく、事故を未然に防ぐための対策を徹底することが何より重要です。今後の対応状況については、議会だより等でも分かりやすくお知らせしてまいります。

💡6月会議でヒグマ対策の補正予算が可決されました。(400万円追加：草刈・木伐採、電気牧柵設置箇所の管理委託料として)